

【令和4年度 主要事業一覧】

(令和5年3月末時点)

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
Ⅰの柱 誰もが地域で楽しむスポーツ・健康づくり						
Ⅰ ライフステージに応じた機会の提供						
(1)子ども						
■オリンピック・パラリンピック派遣事業	1,058	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を受け、スポーツに対する関心の高まり等その効果を最大限に活用し、生涯スポーツの振興を図るため、東京大会出場選手をはじめ、オリンピック・パラリンピック出場経験者(トップアスリート)による実技指導や講話を通じて、スポーツの楽しさや感動を次世代を担う子どもたちに伝え、スポーツを楽しむ心身の育成、スポーツに対する興味・関心の向上に取り組む。	オリンピック・パラリンピックの派遣:18回程度	オリンピック・パラリンピックの派遣:17回(のべ18名)	・学校のニーズに沿った競技種目を追加 ・プログラムの充実	スポーツ振興課
■トップアスリート小学校ふれあい事業	0	府内小学校等の授業に大阪スポーツコミッション構成チームの選手等をはじめ、トップ選手、指導者等を派遣し、児童との対話や技術指導等の直接的なふれあいにより、スポーツのすばらしさや感動を共有する。	協力チーム:18チーム、派遣校数150校、参加児童数:12,000名	協力チーム:13チーム、派遣校数172校、参加児童数:9,741名	応募多数で選外が生じていることから派遣機会の拡充	スポーツ振興課
■府民スポーツ・レクリエーション事業(体力測定会・スポーツ体験会)	1,300	広く府民にスポーツを紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。 (内容) ・体力測定会:運動を始めるきっかけづくりとして、各種イベントやスポーツ観戦、大型商業施設等の来場者を対象に体力テストを実施。 また、WEBコンテンツ(おうちで体力測定)を活用し、測定結果に基づく運動指導を健康運動指導士等より行う ・スポーツ体験会:専門家の指導により、気軽に取り組める運動やトレーニング方法を体験できる機会を提供する。	体力測定会参加者数:1,250名 スポーツ体験会参加者数:900名 体力測定会+スポーツ体験会の同時開催で5回程度予定 (参考)府民スポーツ・レクリエーション事業への参加者:5,000名	体力測定会参加者数:696名 スポーツ体験会参加者数:2,545名※オンライン含む 体力測定会:5回実施 スポーツ体験会:4回実施	コロナ禍で途切れた、運動・スポーツに習慣的に参加する機会の促進	スポーツ振興課
■子ども元気アッププロジェクト事業(保健体育課)	938	スポーツイベントの開催やスポーツ教室等を通してトップアスリート等が、子どもたちに直接ふれあい実技指導を行うことで、スポーツへの興味関心をより一層高め、スポーツ・運動が「楽しい・好き」と感じる機会を設けることで、運動習慣の定着を図る。	イベント参加者へのアンケートによる回答で、肯定的な回答の割合90%を目標とする。	スポーツ教室を開催し、128名の参加があった。アンケートでは、98.6%の肯定的な回答を得た。また、3年ぶりに駅伝大会を開催。27チームが参加。	スポーツイベントにおいて、参加者、及び参加地域の拡大。またアンケートの回収率(R4:57.0%)の向上。	保健体育課
■子どもの体力向上サポート事業(保健体育課)		事業終了				保健体育課
■大阪府立学校部活動指導員配置事業(保健体育課)	75,031	専門的な技術指導力を備えた指導者を必要とする学校に配置することにより、部活動の充実を図る。また、単独で生徒引率可能であるため、教員の負担軽減が期待できる。	希望するすべての学校に配置し、生徒が専門的な指導を受ける機会の充実、教員の時間的・精神的負担軽減を図る。	府立学校61校99部に配置。	希望するすべての部活動に配置できていない。	保健体育課
■社会人等活用推進費(保健体育課)	25,578	専門的な技術指導力を備えた指導者を必要とする学校に派遣することにより、部活動の充実を図る。	希望するすべての学校に派遣し、生徒が専門的な指導を受ける機会の充実を図る。また生涯にわたるスポーツライフの育成を推進する。	府立学校127校に300名に派遣。	安定的な財源の確保。	保健体育課
(2)働き盛り・子育て世代						
■府民スポーツ・レクリエーション事業(体力測定会・スポーツ体験会) 【再掲】			【再掲】			スポーツ振興課
■おおさか健活10推進プロジェクト事業(健康づくり課)	86,132 (内数)	生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、府民に取り組んでいただきたい「10の健康づくり活動」として、『健活10(ケンカツテン)』の普及啓発に取り組む。 (内容) 「健活10」ポータルサイトや府政だより(9月健康増進普及月間)等により、広報啓発を行う。	習慣的に運動に取り組む府民の増加を図る。	「健活10」ポータルサイトや府政だより(9月健康増進普及月間)等により、広報啓発を行った。	健康寿命の延伸及び健康格差の縮小	健康づくり課
(3)高齢者						
■府民スポーツ・レクリエーション事業(体力測定会・スポーツ体験会)発表交流会 【一部再掲】	1,300	広く府民にスポーツを紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。 (内容) ・発表交流会:広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実践する場を提供し、日ごろの成果を発表する。 ・生涯現役スポーツ賞:長年にわたりスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、選手や指導者等としてその普及振興を図り、また健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のあった個人・団体に対し贈呈する。	府民スポーツ・レクリエーション事業への参加者:5,000名 (うち発表交流会参加者数:1,500名)	体力測定会参加者数:696名 スポーツ体験会参加者数:2,545名 発表交流会参加者数:215名 新型コロナウイルスの影響により開催中止。YouTubeチャンネルでの動画掲載にて代替	コロナ禍で途切れた、運動・スポーツに習慣的に参加する機会の促進	スポーツ振興課

■全国健康福祉祭派遣事業(介護支援課)	17,651	高齢者を中心とする国民の健康の維持、増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与する目的に、府内60歳以上の高齢者からなる選手団をねりんピックに派遣する。また、その選手及び作品の選考会の開催を行うとともに、ねりんピックの普及・啓発を行う。	全国健康福祉祭への大阪府代表選手派遣数:160人	派遣選手実績:114人	各媒体やHPを活用して広報の強化を図る必要がある。	介護支援課
■おおさか健活10推進プロジェクト事業(健康づくり課)【再掲】			【再掲】			健康づくり課
2 障がい者スポーツの推進						
■オリンピック・パラリンピック派遣事業【再掲】			【再掲】			スポーツ振興課
■府立障がい者交流促進センター・府立稲スポーツセンターの運営(自立支援課)	障がい者交流促進センター運営費227,092 稲スポーツセンター運営費44,074	・広域的・専門的な立場から、府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)や府立稲スポーツセンターを運営し、今後の障がい者スポーツを牽引していく選手の養成や、障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の養成・派遣を行うなど、競技力の向上と裾野拡大を図る。	各施設ともに少しでも多くの方に利用してもらうように、積極的に事業等を周知し、障がい者スポーツの推進を図る。	各施設、ホームページの充実や、SNSでの情報発信など、積極的に行った。また、施設内での事業等人数制限を設けながらはありますが、コロナ前程度に開催することができた。	引き続き、積極的に各施設の情報発信をするとともに、施設の機能を最大限に発揮し、競技力の向上と裾野の拡大を図る。	自立支援課
■大阪府障がい者スポーツ大会開催事業(自立支援課)	障がい者交流促進センター運営費227,092の内数	・障がい者スポーツの競技性や障がい者一人ひとりの競技力の向上と裾野拡大を図るため、競技スポーツの祭典である大阪府障がい者スポーツ大会を開催する。	大会参加者数:1,000人	過去2大会コロナの影響で中止となっていたが、コロナ対策(来賓無し等)を講じながら3年ぶりに開催。大会参加者数(R4)個人競技:696人 団体競技:83人	コロナの影響で減少した参加者数を回復し、目標値に近づけるよう、情報発信等に努める。	自立支援課
■全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣(自立支援課)	障がい者交流促進センター運営費227,092の内数	・大阪府障がい者スポーツ大会の成績優秀者等について、強化練習等の支援を行うとともに、全国障害者スポーツ大会に大阪府選手団として派遣する。	大阪府選手団が個々の力を十分に発揮できるように、強化練習会等の支援を行う。	過去3大会、台風やコロナの影響で中止となっていたが、4年ぶりの派遣となった。強化練習会も各競技5回程度実施し、選手82人、役員58人を派遣。	引き続き、大阪府障がい者スポーツ大会の成績優秀者等について、強化練習会等の支援と派遣を行う。	自立支援課
■大阪府障がい者スポーツ推進会議(自立支援課)	0	支援教育課、保健体育課、スポーツ振興課、自立支援課、各障がい種を代表する府立支援学校校長、ファインプラザ大阪、稲スポーツセンター職員、大阪府障がい者スポーツ協会等で構成し、大阪府内における障がい者スポーツ活動の普及・推進を図り、障がい者の社会参加の促進に寄与するとともに、大阪府立支援学校におけるスポーツ活動の普及・推進を図り、障がいのある幼児・児童・生徒の健全な発達と社会参加の促進等について協議・情報共有の場として開催している。	・実施回数:年1回	左記庁内関係課と、関係機関に加えて、大阪市と堺市の障がい者スポーツ担当者にも参加いただき、障がい者スポーツの推進等に関する情報交換を行うことができた。	支援学校の児童、生徒等がスポーツを取り組むにあたっての課題に対して、具体的に解決する方法等を議論できる等、審議内容をより意義のあるものになるように努める。	自立支援課
3 スポーツの習慣化と健康づくり						
■Sport in Lifeプロジェクト事業【事業終了】	0	働き盛り世代をメインターゲットに、プロスポーツチームの試合観戦に来た人に身体を動かすプログラムを提供することで、試合観戦に来た人が健康意識をさらに向上させると共に、運動を実施する新たな観戦スタイル(アクティブ観戦)モデル実証事業を実施する。	・実施回数:3回程度を想定 ・家事や仕事等が忙しくても本プログラムなら実施できると感じた人の割合5割	国庫不採択により未実施		スポーツ振興課
■府民スポーツ・レクリエーション事業(体力測定会・スポーツ体験会)【再掲】			【再掲】			スポーツ振興課
■おおさか健活10推進プロジェクト事業(健康づくり課)【再掲】			【再掲】			健康づくり課
■健康づくり支援プラットフォーム整備等事業(国民健康保険課)	452,000	府民の健康づくりに対する意識の向上と実践を促すことを目的に、ポイント還元を活用した健康づくり事業を実施するためのICT基盤(プラットフォーム)を整備し、府民向けサービスとして「おおさか健活マイレージ アスマイル」を展開し、府民への普及を図る。	健康アプリ「アスマイル」の参加人数:40万人(令和4年度末時点)	健康アプリ「アスマイル」の参加人数:35万人(令和4年度末時点)	目標参加人数の40万人に達しなかったため、今後さらに参加人数を増やしていくことが課題である。	国民健康保険課
■全国健康福祉祭派遣事業(介護支援課)【再掲】			【再掲】			介護支援課
■大阪府スポーツ推進委員協議会(保健体育課)	0	市町村が委嘱するスポーツ推進委員の資質向上のため、研修等の充実をはかり地域でのスポーツ振興を「ささえる」人材の育成を支援する。	スポーツ推進委員の資質向上及び、地域での活動について発信し、認知度を高め府民のスポーツ参画を促す。	大阪府スポーツ推進委員研修会を実施。342名参加。初任者研修会を実施。26名参加。	スポーツ推進委員の認知度を上げる工夫が必要。	保健体育課

4 地域でスポーツを楽しむ環境づくり						
■総合型地域スポーツクラブステップアップ事業	6,210	人口減少や少子高齢化等の課題に対応するため、地域や大学、スポーツチーム等と連携した地域スポーツコミュニティ形成の取組みを実施する。	府内2地域を重点地域とし、地域・行政・大学との連携によるスポーツコミュニティの形成。	府内2地域を重点地域に選定し、地域・大学・行政が連携したスポーツを通じた地域課題の解決につながる、スポーツを楽しめる機会の創出。	地域・行政・大学等の幅広い連携体制を構築し、子どもも大人も参加できる地域のスポーツ環境のあり方	スポーツ振興課
■スポーツボランティア養成及び派遣事業	656	スポーツを支えるボランティアの資質向上と新たな人材の育成のため、研修会の実施、府内スポーツイベントへのボランティア派遣等を実施する。	大阪府登録スポーツボランティアの派遣:13事業 ボランティア研修会:1回	大阪府登録スポーツボランティアの派遣:6事業 ボランティア研修会:1回	安定したボランティアの活躍の機会の確保	スポーツ振興課
■大阪府立学校部活動指導員派遣事業(保健体育課)【再掲】			【再掲】			保健体育課
■社会人等活用推進費(保健体育課)【再掲】			【再掲】			保健体育課
■大阪府スポーツ推進委員協議会(保健体育課)【再掲】			【再掲】			保健体育課
5 スポーツコミッションによる生涯スポーツの推進						
■大阪スポーツコミッション[OSAKA SPORTS PROJECT]事業(生涯スポーツの振興)	0	大阪スポーツコミッション(OSAKA SPORTS PROJECT)構成チームの主催試合や市町村、民間企業等と連携したスポーツイベントにおいて、スポーツ体験会などスポーツを楽しむ機会を提供。	トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:30回以上	トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:62回	安定的な財源の確保	スポーツ振興課
■観戦優待事業	0	在阪スポーツチーム等の協力により、チーム主催試合の優待観戦を行い、スポーツ観戦(「観る」)を通じて、府民にスポーツを楽しむことができる機会を提供する。	応募件数:500件、応募者数1,000人	応募件数:1,958件、応募者数4,011人	協カチームの拡大及びSNS等を活用したより効果的な広報の検討	スポーツ振興課
■トップアスリート小学校ふれあい事業【再掲】			【再掲】			スポーツ振興課
2の柱 成長するスポーツで楽しいまちづくり						
1 様々な形のスポーツツーリズムの推進						
■アーバンスポーツツーリズムによる地域活性化事業	64,110	万博の機会を捉え、誰もが楽しめ、エンタメ性の高いアーバンスポーツによるツーリズムを実証的に展開し、将来的なインバウンドを含む内外の来訪者をひきつけ、スポーツの楽しさと活力にあふれた大阪の実現を図る ・アーバンスポーツ体感フェスの開催(内外の一流選手によるショーケース、アーバンスポーツやVR等の体験イベント)並びにDXを活用した効果検証 イベント名:URBAN SPORTS FES OSAKA(アーバンスポーツフェス大阪) 1月15日 プレイベント ららぽーと堺 3月11日・12日 メインイベント インテックス大阪	・イベント来場者数:7,000名 ・来場者に対する満足度8割以上	・イベント来場者数:17,000名 ・来場者に対する満足度:約9割	安定的な財源の確保	スポーツ振興課
2 スポーツコミッションによる活力あるまちづくりの推進						
■スポーツによる誘客促進事業	12390	スポーツの楽しさやトップアスリートの運動能力の凄さを感じてもらい、スポーツへの関心を高めるとともに、大阪の魅力発信と誘客促進につなげることを目的に、以下の取り組みを実施。 ・アスリートによるステージイベントやチームにゆかりのあるアーティストなどによるパフォーマンス、スポーツ体験会などを実施。 イベント名:OSAKA SPORTS PROJECT EXPO 日時:令和5年2月18日(土曜日) ちゃやまちプラザ(MBS本社1階)	イベント来場者数:7000名(オンライン視聴者数3,000名) ・来場者に対する満足度8割以上	イベント来場者数:2,966名(オンライン視聴者数2,910名) ・来場者に対する満足度:約8割	安定的な財源の確保	スポーツ振興課
■大阪スポーツコミッション[OSAKA SPORTS PROJECT]事業(スポーツツーリズムの推進)	0	府内トップスポーツチーム、スポーツ団体、経済団体等が一体となった大阪スポーツコミッション(OSAKA SPORTS PROJECT)により、スポーツ資源を活用し、スポーツを楽しむ機会を提供するとともに活力あるまちづくりに向けて、スポーツツーリズムの推進に取り組む。	【再掲】トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:30回以上	【再掲】トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:62回	安定的な財源の確保	スポーツ振興課
3 産業連携・技術活用による成長するスポーツづくり						
■健康産業創出支援事業(ライフサイエンス産業課)	0	スポーツ分野を含めた健康関連製品・サービスについて、民間主導により、企業ニーズと大学のマッチングから事業化までの一貫した支援を行う。	事業が上市に至るまでの伴走支援を実施する	・R2.10～R5.3まで伴走支援:1件 有望シース選定:3件	R5.10の運営事業者との協定期間終了後の対応	ライフサイエンス産業課

■健康産業創出支援事業(産業創造課)	0	健康寿命延伸産業分野での新事業の創出支援のため「大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム(OKJP)」を設置し、健康関連事業を実施する事業者の取り組みを、産学金官が連携してサポートする。	先進的な新事業の発掘	令和4年11月18日に健康産業有望プラン発掘コンテストを実施 募集プラン数:23件 参加者数:58名	産業創造課	
4 人とまちを活用するスポーツイベントの展開						
■大阪マラソン開催事業	90,000 ※府市同額	大阪マラソンは、参加ランナーが大阪の名所を駆け抜け、大阪の元気や都市魅力を国内外に発信する新しい「お祭り」として2011年にスタートした。 2022年2月27日開催の第10回大会から「びわ湖毎日マラソン」と統合し、オリンピック等の代表選考レースとしての機能を併せ持つ大会として開催し、トップランナーも参加する大会となった。今後、さらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進することにより、世界トップレベルの市民マラソンをめざす。	海外ランナーエントリー数: 15,000人	海外ランナーエントリー数: 727人	海外ランナーのエントリーについて、新型コロナウイルスの水際対策の影響により、海外ランナーの参加を積極的に推進することができなかった。 現在水際対策は緩和されたため、来年度以降海外からのランナーに大阪の魅力を発信する取組を強化する。	スポーツ振興課
■AIMS世界総会の開催	15,000 ※府市同額	「第23回AIMS(国際マラソン・ディスタンスレース協会)世界総会」を開催し、大阪マラソンの国際的な知名度向上を図るとともに、加盟国・地域、参加者の来阪による経済効果の創出やMICE都市の実現に寄与する。 ○期間 2023年2月23日~25日 ○会場 大阪市内のホテル ○参加者数 約500名(海外450名、国内50名) ○内容 AIMS世界総会開催、大阪マラソン視察、大阪・関西のプロモーション	AIMS世界総会への海外参加者比率8割以上	「第23回AIMS(国際マラソン・ディスタンスレース協会)世界総会」 ・期間 2023年2月23日~25日 ・会場 大阪市内のホテル ・参加者数 250名(海外113名、国内137名) ・内容 AIMS世界総会開催、大阪マラソン視察、大阪・関西のプロモーション	参加者のうち、約45%が海外からの参加者であり、計45か国もの国々からの参加があった。 上記のとおりMICE都市の実現に向け、大阪のプロモーションに成功した。	スポーツ振興課
■ワールドマスタースゲームズ関西	0	延期された生涯スポーツの祭典であるワールドマスタースゲームズ関西大会に向けて、イベント等での啓発活動等を実施し、機運醸成をはかる。	組織委員会や府内競技開催市と連携し、イベント等での啓発活動等により、大会の認知度向上、機運醸成を図る	・2022年11月に関西組織委員会主催のキックオフイベントに出席 ・組織委員会や府内競技開催市と連携し大会の周知・啓発活動を実施	大会までの期間を踏まえた事業の進め方の検討	スポーツ振興課
スポーツ施策の推進体制等の強化(情報発信の強化)						
■スポーツ情報発信事業	2,401	HPやSNS等を使ったスポーツ情報発信により、大阪を訪れる国内外の観光客に対し、試合情報やスポーツ体験等のスポーツ情報を広く発信することでスポーツツーリズムの推進につなげる。	セッション数:2,000件/月(SPORTS OSAKA)	セッション数:5,842件/月(SPORTS OSAKA)	庁内他部局や大阪観光局等と連携したスポーツ関連コンテンツの充実	スポーツ振興課